

フェイスシールドは「コロナ」や「メッセ」をプリントできるタイプも提案



医療用ガウンは、政府から要請を受けた物作り企業のビジネススマッシング支援のリンカーズ（東京）と、商社のレスターホールディングスと連携して生産。撥水性不織布を使い、岩手県陸前高田市にある自社工場と全国の協力工場で、5、6月で100万枚以上を生産する計画。既に政府への1回目の納品

ボマックス 「コロナ対策本部」設立  
感染拡大防止関連用品を生産、販売

ユニフォーム総合アパレルのボナムックス（東京）は先月、外川雄一社長を含む約10人で、コロナ対策本部を設立した。深刻な医療物資不足が続いている現状を踏まえて、国内外の生産網を使い、低コスト・短納期の物作りの仕組みを生かした対応策を検討。新型コロナウイルス感染拡大防止関連商品の生産を始め、今月から販売を開始した。

医療用ガウンは、政府から要請を受けた物作り企業のビジネススマッシング支援のリンカーズ（東京）と、商社のレスターホールディングスと連携して生産。撥水性不織布を使い、岩手県陸前高田市にある自社工場と全国の協力工場で、5、6月で100万枚以上を生産する計画。既に政府への1回目の納品

マスクは今年、中国製の不織布マスク数百万枚を代理店向けに販売。学校再開を控え、6月から子供用も揃える。使い捨てに加え、国産の洗えるマスクも8月から販売する。国産マスクは接触面にキシリトル素材を採用し、冷感・抗菌防臭・吸汗速乾・UV（紫外線）カット・伸縮性・洗濯可能ななどの機能を備える。そのほか、米国の冷却素材「クールコア」を使い、伊藤忠商事が中国で生産した冷感マスクも7月から、代理店とワイクシヨップを通じて販売する。

# コロナ対策本部



## ボナムックス コロナ対策本部設立

ガウンなどの生産・販売も

ユニフォームメーカー「内」に設置した「コロナ対策」のボナムックス（東京都 策本部）（写真）で、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策本部は、社

大防止対策のアイソレーションガウンやマスクなどの生産・販売を始めた。

企画立案は、社内の有志メンバーが朝礼、終礼、テレワーク時に情報共有しながら自主的に実施。国内外の縫製品生産ネットワークの活用などを検討した。撥水（ほっすい）性不織布を使った

アイソレーションガウン「場」で5〜6月に100万枚超を生産、政府へ納入に冷感のキシリトル素材を採用し抗菌防臭などの機能性を持つ国産ワイシャツやマスクや、学校再開を見据えた「供用」使用に向けてマスクを6月から販売予定。

飲食業・接客業などの社「レストラン」ホールディングスと連携し、自社工場（岩手県陸前高田）再開に向けてスポンジ付「き」フェイスシールドの販売